

# 体育科学習指導案

指導者 広島市立観音小学校教諭 草場 明日香

- 1 日時 令和3年11月13日(土) 第1校時 9時10分～9時55分
- 2 学年 第1学年3組(男子 19名 女子 16名 計 35名)
- 3 単元名 「とびっこあそび ～とびっこランドをしよう～」
- 4 授業づくりの考え方

## 単元の捉え方

低学年の走・跳の運動遊びは、「走の運動遊び」及び「跳の運動遊び」で構成されている。いろいろなレーンを走ったり、リズムよく跳んだりする楽しさに触れる中で、自然といろいろな方向へ走る、低い障害物を走り越す、前方や上方に跳ぶ、連続して跳ぶなどの基本的な体の動かし方を身に付けていくことがねらいである。

跳の運動遊びでは、とびっこ遊びの中で短い助走を付けて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようになることをねらいとしている。

また、様々なコースでとびっこ遊びをする中で、順番のきまりを守り、誰とでも仲よく運動遊びをする態度を育てる。

## 児童の実態

本学級の児童は、遊具遊びや鬼ごっこなどをして体を動かすことを好んで過ごしている。体育科の授業においても「楽しんで学習することができた。」と振り返る児童が9割以上と、楽しみながら活動できる児童が多い。

事前アンケートで、経験したことのある動きや、やってみたいコースについて質問したところ、高く上に跳んで手や足をたたいたり、回転したりする動きなど、様々な動きを経験している児童が多い。やってみたいコースでは、複雑なコースに挑戦してみたい児童が多かった。

## 何ができるようになるか(めざす児童の姿)

基本的な体の動かし方を身に付け、いろいろな跳び方に挑戦することができる子

## 何を学ぶか(指導内容の明確化)

本単元では、「リズムカルに跳ぶ」「遠くに跳ぶ」「高く跳ぶ」運動について、踏み切りや跳び方といった体の使い方を工夫して跳ぶ感覚をしっかりと身に付けていく。主運動につながる動きとして、繰り返して跳ぶ運動を行わせ、基本的な動きを身に付ける。主運動については、条件を少しずつ変えていき、児童の学習意欲をかき立てながら、よりよい動きをするための体の使い方に気付かせていく。また、友達のよい動きを見付けて伝えたり、順番や決まりを守って仲よく活動したりする力を身に付ける。

## どのように学ぶか(学習過程の工夫)

準備運動で足うち跳びや回転跳びなどを繰り返して行い、主運動に生かせるようにする。主運動については、スモールステップで条件を少しずつ変えていき、学習目標を達成できるようにさせていく。また、運動量を十分に確保し、とびっこ遊びの楽しさを味わえるようにする。単元を通して「ミッションをクリアする。」という設定で行い、1時間の学習が終わるごとに、児童が新しい教具を手に入れるようにしていき、意欲的に学習することができるようにしていく。また、班で応援し合いながら活動をすることで、運動が苦手だと感じている児童も達成感を味わうことができるようにしていく。

5 単元の目標と評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元目標	とびっこ遊びの楽しさに触れ、その行い方を知るとともに、助走を付けて片足で踏み切り、前方や上方に跳んだり、片足や両足で連続して跳んだりすることができるようにする。	走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫するとともに、考えたことを友達に伝えることができるようにする。	とびっこ遊びに進んで取り組み、順番やきまりを守り誰とでも仲よく運動をしたり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。
評価規準	① 前方や上方に跳ぶことができる。 ② 片足や両足で連続して跳ぶことができる。 ③ 幅跳び遊びの行い方を知り、助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切ることができる。	① 走ったり跳んだりする簡単な遊び方を工夫している。 ② 考えたことを友達に伝えている。	① とびっこ遊びに進んで取り組もうとしている。 ② 運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく活動している。 ③ 使用する用具の準備や片付けを、友達と一緒にしようとしている。 ④ 危険物がないか、ゲームをする場が十分にあるかなどの場の安全に気を付けようとしている。

6 指導と評価の計画（第1学年 全8時間）

次	時	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点		
				知技	思判表	態度
一	1	いろいろなとぶあそびをたのしもう ○ とびっこ遊びにつながる運動を行う。(手たたき跳び、足うち跳び、かいてん跳び、ひざタッチ跳び)	○ 意欲をもって学習に取り組むことができるようにするために、楽しみながらとびっこ遊びにつながる動きを経験することができるようにする。			① ④
		ケンパーとびをたのしもう ○ ケンパー跳びを行う。	○ ケンパー跳びを行い、連続して跳ぶ感覚をつかむことができるようにする。	②		②
二	3	いろいろなコースでとんでみよう ○ 様々なコースのケンパー跳びを行う。 ○ ケンパー跳びで、じゃんけんゲームをする。	○ いろいろな置き方のケンパー跳びのコースを用意する。 ○ 長いコースを作り、ケンパーのコースでじゃんけんゲームをする。	②		②
		かわとびをたのしもう ○ 川跳びのコースで跳ぶ練習をする。	○ いろいろな川跳びコースで、跳び方や着地の練習を行う。	①		②

5 (本時)	もっととおくにとんでみよう		③	②
	○ 障害物を増やし、さらにレベルアップしたコースで跳ぶ。	○ 障害物を置き、足を上げて跳ぶ意識をもたせる。 ○ 助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切ることができる児童から跳び方のコツを見付けて、全体で共有する。		
	○ 川幅を広げたコースで跳ぶ。	○ 川幅を広げたコースで、地面をしっかり蹴る意識をもたせる。		
6	ゴムとびをたのしもう		①	②
	○ ゴム跳びのコースで跳び方を練習する。 ○ 高さを変えて跳ぶ練習をする。	○ 両足や片足、横向きといった様々な跳び方で跳ぶ練習をする。 ○ 高さを変え、高く跳ぶためにはどうしたらいいかという課題をもつことができるようにする。		
7	もっとたかくとんでみよう		②	① ②
	○ 前時より高いコースで跳ぶ。	○ 上手に高く跳んでいる児童を見付け、ポイントをおさえる。(手の動かし方、片足跳び)		
	○ 様々なコースのゴム跳び遊びをする。 ○ これまでの学習を振り返る。	○ 高さや置き方を変えたり、二人で合わせて跳んだりする等、様々なコースで跳ぶ練習をする。 ○ 手を大きく動かすことや力強く踏み切ることを確認する。		
三	8	とびっこランドをひらこう		② ③
		○ ケンパー跳び、川跳び、ゴム跳びを組み合わせたコースを、じゃんけんすごろくで跳ぶ。	○ これまでの学習を、単元マップを使って振り返る。 ○ 児童が楽しみながらコースを跳べるようにじゃんけんすごろくで何度も跳べるようにする。	

### 7 授業観察のポイント

- もっと遠くへ跳ぶことができるように、助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切ろうと何度も挑戦することができていたか。
- 助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切るために、場の設定や振り返りの言葉かけが有効であったかどうか。

8 本時の学習（5／8時間）

<p>目標</p>	<p>○ 幅跳び遊びの行い方を知り，助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切ることができる。 【知識・技能】</p>	
<p>学習内容・活動（・予想される児童の反応）</p>	<p>指導上の留意点(○指導 □支援・配慮)</p>	<p>評価規準 (評価方法)</p>
<p>1 準備運動をする。</p> <p>2 前時を振り返り，本時の課題を確認する。</p>	<p>○ 運動で使う部位を意識しながら動かすように助言する。</p> <p>○ 前時で動物から届いたミッションを確認する。</p>	
<p>めあて：もっととおくにとぶには どうしたらいいかな</p>		
<p>3 川跳びのコースを跳ぶ。</p> <p>4 より川幅の広いコースに挑戦する。</p> <p>5 コースに低い障害物（箱）を置いて跳ぶ。</p> <p>6 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助走をつけたら勢いよく跳べたよ。</li> <li>・ 地面を蹴ったら遠くに跳べたよ。</li> </ul> <p>7 次時の課題をつかむ。</p> <p>8 片付けをする。</p>	<p>○ 本時では，川幅を広くし，より遠くに跳ぶことが課題であることを確認する。</p> <p>○ 上手く跳んでいる児童がいたらコツを聞き，全体に共有する。(助走)</p> <p>□ 交流の場を使って，跳び方を共有する。</p> <p>○ 距離を伸ばした着地点を追加する。</p> <p>○ 自分に合った助走の距離が選べるようにスタート地点に目印のコーンを置く。</p> <p>□ 助走に勢いがあり，片足で力強く地面を蹴って跳んでいる児童を見つけたら積極的に褒める。</p> <p>□ コースに低い障害物（箱）を置き，跳び越えようとする意欲を高める。</p> <p>○ ポイントをおさえて跳ぶことができたかどうか，振り返る。</p> <p>○ 動物から届いた次のミッションを伝え，次の学習にも意欲的に参加することができるようにする。</p>	<p>○ 幅跳び遊びの行い方を知り，助走を付けて片足でしっかり地面を蹴って踏み切ることができる。 【知識・技能】 (観察・発言)</p>